

# ナシ(有袋)の栽培・防除暦(平成30年版)

月	旬	生育相	管理作業	対象病害虫	基幹防除	100% 当たり 薬量	補完防除及び注意事項	散布日 散布量 記入欄		
冬季の基本管理			密植園の間伐・縮伐、罹病枝葉(枯れ枝)の徹底除去(園内をきれいに!)、土づくり、防風垣(施設)の整備							
1		休眠期	整枝 せん定 棚付け誘引 春肥(新高)	◎胴枯病、輪紋病	トップジンMペースト 原液 塗布 (せん定整枝時及び病患部の削り取り直後)		○白紋羽病 フロンサイトSC 500倍 50~100% <sup>1</sup> /樹 ※ 灌注器で樹幹から半径1m程度の範囲で 数ヶ所に灌注処理を行う かぶれに注意	月 日		
2								月 日		
3	上	りん片脱落前	摘蕾	◎黒星病	デランフロアブル 1,000倍	100cc	○ニセンサビダニ ハチハチフロアブル 2,000倍	月 日		
		りん片脱落期		◎黒星病	ユニックス顆粒水和剤47 2,000倍	50g	○アブラムシ類 ミクロデナホン水和剤85 1,000倍	月 日		
	下	出蕾期~ 開花直前	摘蕾 摘花	◎黒星病、赤星病	スコア顆粒水和剤(SBI) 4,000倍	25g		月 日		
4	上	満開期 (品種で時期前後)	人工受粉	◎黒星病、輪紋病	ベルコートフロアブル 1,500倍	66cc	※病害は初発を徹底的に抑える (発生後では遅い! 予防散布を徹底) ※SBI剤は、耐性菌発生のあるので 連用しない 複数の剤を用い、ローテーション散布を行う	月 日		
	中	落花期		◎黒星病、赤星病 輪紋病	アンピルフロアブル(SBI) 1,000倍	100cc		月 日		
	下	展葉期~ 新梢伸長期	予備摘果	◎黒星病、赤星病 ◎シンクイムシ類(アブラ ムシ類)	デランフロアブル 1,000倍 アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍	100cc 50g		○アブラムシ類に対する希釈倍数は3,000倍 (アクタラ顆粒水溶剤)	月 日	
5	上		小袋かけ	◎黒星病、輪紋病	インダーフロアブル(SBI) 5,000倍	20cc	○アブラムシ類、ハマキムシ類、シンクイムシ類、カイガラムシ類 オリオン水和剤40 1,000倍 ※黒星病多発時 ファンタスタ顆粒水和剤(前日まで) 3,000倍 スクエアフロアブル(前日まで) 2,000倍 フルーツセイバー(前日まで) 1,500倍	月 日		
	中	熟期促進(幸水):シ・ヘルリン協和ペースト 果梗部塗布 20~30mg/1果		◎黒星病、輪紋病	ベルコートフロアブル 1,500倍	66cc		月 日		
	下	(梅雨入り前)	仕上げ摘果	◎黒星病、輪紋病	キノトーフロアブル 1,000倍	100cc		月 日		
6	上中	袋掛け直前	夏肥(新高)	◎黒星病、輪紋病	アミスター107フロアブル 1,000倍 サムコルフロアブル10 5,000倍	100cc	※低温日が続く場合は、黒星病の発生に注意 する ○カイガラムシ類 コルト顆粒水和剤(前日まで) 3,000倍	月 日		
	下		袋かけ 新梢誘引	◎黒星病、輪紋病		オキシラン水和剤 500倍		200g	月 日	
7	上	新梢伸長停止		◎カメムシ対策 果実が肥大し果実袋と密着する時期から被害を受けやすい。 園内外を定期的に観察し早めの防除を行う。	オキシラン水和剤 500倍	200g	○ハダニ類 スターマイトフロアブル(前日まで) 2,000倍 コロマイト水和剤(前日まで) 2,000倍 ○カメムシ類(次のいずれかを散布) ロティエ水和剤 1,000倍 アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍 アグロスリン水和剤 1,000倍 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 ※上記の4剤とも収穫前日まで使用可	月 日		
	中	(梅雨明け前後)	夏季せん定						◎黒星病、輪紋病	月 日
	下		台風対策						◎黒星病、輪紋病	月 日
8	上	幸水成熟期	幸水収穫					月 日		
	中	豊水成熟期	豊水収穫					月 日		
9	上中	初秋肥(幸・豊)	初秋肥(幸・豊)	◎黒星病	(収穫後) オキシラン水和剤 500倍 又はICホルド <sup>TM</sup> -48Q 30倍	200g 3.3kg		月 日		
	下	新高成熟期	新高収穫					月 日		
10	中		秋肥	◎黒星病	オキシラン水和剤 500倍 又はICホルド <sup>TM</sup> -48Q 30倍	200g 3.3kg		月 日		
11	中	落葉期	秋肥	◎黒星病	オキシラン水和剤 500倍 又はICホルド <sup>TM</sup> -48Q 30倍	200g 3.3kg		月 日		
12		休眠期		◎ハダニ類及びその 越冬卵、カイガラムシ	高度マジン95 20倍	5%		月 日		

注1)平成30年1月5日現在の登録内容に基づき記載  
注2)農薬使用時期・使用回数等については別紙参照

## 【施肥基準例】

◎幸水・豊水

みかん秋4号(10-8-6)使用の場合(10a当たり)

	生産量2t	生産量3t	生産量4t
初秋肥 (9月上旬)	1.5袋	2袋	2.5袋
秋肥	(10月下旬)	3.5袋	4.5袋
	(11月中旬)	2袋	3袋
堆肥 (落葉後)	完熟堆肥2t		

※樹勢が強く、2次伸長するような園では、初秋肥は不要

◎新高

みかん秋4号(10-8-6)使用の場合(10a当たり)

	生産量2t	生産量3t	生産量4t
春肥 (2月下旬)	1.5袋	2袋	2.5袋
夏肥 (6月上旬)	1.5袋	2袋	2.5袋
秋肥	(10月下旬)	3袋	4.5袋
	(11月中旬)	1.5袋	2袋
堆肥 (落葉後)	完熟堆肥2t		

※堆肥は牛ふん堆肥の場合

<農薬登録内容が変更されている場合があるので、農薬使用前には表示ラベルをしっかりと確認しましょう!>